

■平成 23 年度第 4 回中仙地域協議会会議録

1 日 時 平成 24 年 3 月 23 日（金曜日）午後 3 時から 3 時 55 分まで

2 会 場 大仙市役所中仙支所 第 21 会議室（2 階）

3 出席委員等

(1) 委 員（敬称略）

①出席委員（12 人）

小原杏平、金子美喜男、木元洋子、草薙幸隆、草薙昌美、児玉誠良、高橋辰美、寺田文夫、傳農富士夫、長谷山祥子、平瀬一浩、藤田貞子

②欠席委員（6 人）

秋山康、井上美雪、大畠清三郎、佐藤育男、高貝昇太郎、高橋修、

(2) 市職員（10 人）

皆川貢中仙支所長、田口祥吾市民サービス課長、小松孝勝市民サービス課参事、鈴木清仙農林建設課長、高橋昭則農林建設課参事、阿部利美中仙公民館長、荒川義弘八乙女荘事務長、太田敬市民サービス課主席主査（事務局）

4 地域協議会内容

【開会】

開会を宣言

【会議の成立】

事務局から出席委員が 12 人で 2 分の 1 以上の出席があることから、地域協議会が成立する旨を報告した。

【傳農会長あいさつ】

本日は年度末のお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。

1 年が過ぎるのは早いもので、東日本大震災があったのが、前年度であります。本年度のようなくらいであります。市当局をはじめ、いろいろなボランティアが活躍されたことに対しまして心から敬意を表したいと思えます。また、大仙市においては、いち早くガレキの受け入れを表明されまして、持ち込まれる地域にはいろいろな思いがあろうとは思いますが、何かの形で我々も支援していくことが大事だと思えます。わが身になって考えていかなければならないのでは思うところがございます。何かありましたら委員の皆さんにもご協力を願うこともあろうかと思えますが、その節には特段のご配慮をお願いしたいと思います。

まだ決まってはおりませんが、後程、「その他」のところは何いたいと思えますが、来年度の予算について、発表できる範囲でお聞きしたいと思います。

本日の開会は 3 時となっております。こういう時間帯も考慮していきたいと思えます。任期について、今年までかと思っておりましたら、25 年までとなっております。ま

だ1年任期があるわけでごさいます、精一杯がんばってまいりますので、皆様からの協力を節にお願いいたしまして、開会に当たりご挨拶とさせていただきます。

【皆川支所長あいさつ】

年度末のお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。

今年の冬は、昨年豪雪だったので、雪はそれほど多くないのではと考えておりましたが、2年続きの豪雪ということで、中仙地域では大仙市でもトップクラスの積雪量、7m47cm、今日現在ですけれども、最大積雪深では、2月20日に1m42cmが最大となっております。今朝の計測では、ドンパン広場のところすけれども、62cmという報告となっております。

除雪関係では、2月24日までに早朝の除雪車が出動した回数が40日となっております。例年でありますと30日かそれより少し多いくらいということでありましたが、10日ほど多い、ということが今年の豪雪を物語っているのかなど。そしてすでにご存じかと思いますが、除雪費も12億6969万2千円、昨年度より1千万ほど多くなっております。

また雪害も大変多く発生しております、除雪作業の事故では12月26日から2月6日までに、重軽傷者がでた事故が4件、年齢では82、79、47、78歳というようになっておまして、残念なことに、2月21日には屋根の雪下ろし作業中に転落された78歳の方が死亡するという、痛ましい事故も起きております。他には家屋の倒壊も8件ございまして、住家が1件、非住家7件でございます。それから工事作業で、国道105号線の跨線橋でございますが、雪が降り積もりまして、落雪がありまして、通学路に大量の雪が落ちてきたというような事故もございました。

市役所や支所でも空き家の雪下ろしや路肩のふくらみの除排雪を職員総出で行っておりますけれども、市民の皆さんからの除雪ボランティア「大仙雪マル隊」も活躍していただき大変感謝いたしております。

さて地域枠事業につきましては、委員の皆様からご承認いただきました全事業25件、完了しております。また地域枠事業の本年度予算でございますが、704万2千円、今年度より約100万円増額となっておりますも、この後、桜まつりなどの事業申請等がありますのでよろしくお願いたします。

また本日の魁新聞に大仙市職員の異動内示は発表されております。異動総数は477名、退職者77名、採用は25名、県に帰任する職員が1名となっております、来月4月からの職員総数は1151名、合併当初から比較しますと316名の減となっております。中仙支所では現在60名体制、私も含めてですけれども、新年度では実質1名減という内示となりました。市民サービス課で2名の減で19名、農林建設課で1名増の19名、私を含めて総数は39名になります。中仙支所での定年退職者はおりませんけれども、今日、出席しております農林建設課の高橋参事が早期退職ということで1名おります。また他に八乙女荘が4月1日から法人に移行することもございまして、福祉法人への希望退職者を募ったところ6名、希望されておまして、今日出席しております荒川事務長も早期退職ということになっております。たまたま本日、中仙地域出身の、旧中仙町役場時代から職員でありました定年退職者と早期退職者の送別会がございすけれども、15名が対象者になっております。そのうち定年退職者が3名、早期退職者が2名、他は新しい法人に移るといことで、いったん市の職員を離れるということにして、ただ八乙女荘、桜寿苑につきましては福祉法人になりまして、これまで同様、市民、入所者の皆さんに丁寧なサ

ービスをしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

以下、傳農会長の進行のもと、議題に入る。

【議題】

(1) 会議録署名委員の指名

会長が金子美喜男及び寺田文夫の両委員を指名、異議なく了承された。

(2) 地域枠予算事業について（説明者：田口市民サービス課長）

- ・ 23年度分について 資料のとおり。執行率99.8%
- ・【実施類型I型】市が主体となる事業について

①八乙女公園桜まつり電飾事業

- ・ 桜のライトアップ、夜間の通行の安全確保を目的
- ・ 事業費 531,720円のうち316,470円

②地域案内標識版設置事業

- ・ 県道角館六郷線の下桜田から栗沢・谷地方面への案内板を設置する
- ・ 事業費 191,100円

③案内板修繕事業

- ・ 広域農道沿い、清水公民館と表示の看板の修繕
- ・ 事業費 128,100円

会長 説明が終わりましたが、順に協議いたします。

①の事業の差額は誰が負担するのですか？

市民サービス課長 差額分は観光協会の負担となります。

会長 差額は観光協会負担だそうです。ご意見やご質問はありませんか。

金子委員 買った場合の価格は？

市民サービス課長 線から何から全てとなりますと結構な額となろうかと思えます。今まで、借りて、設置して、戻す ということでやっておりますので。保管場所や線の劣化等も考えられますので。借りた方がよろしいかと思えます。

会長 よろしいですか。他はありませんか。無いようですので決定させていただきます。次に②ですが、ご意見やご質問はありませんか。無いようですので決定させていただきます。③についてですが、ご質問ありませんか。無いようですので原案どおり決定させていただきます。

参考までに、桜の状況はどんな感じでしょうか？

支所長 先週、八乙女を守る会とも話しましたが、テングス病につきましては、きれいに残らず取れているとのことでした。今年は鶯の被害もあまりないようですので、期待できるのではと思っています。ただ開花時期については若干遅れるという情報です。

会長 提案された案件については原案どおりに決まりました。

先ほど支所長から説明がありましたが、来年度の予算について704万2千円と増額になっておりますが、何か「こういうことに使いなさい」というようなことはあるのですか？

支所長 協議会委員と相談し、地域のために効率よく使え、という市長命令です。

会長 分かりました。提案された案件についてはすべて終了しましたが、委員の皆さんから何かありませんか。無いようです。

それでは市当局のほうから何かありましたらお願いします。

市民サービス課長 24年度の事業については、来年度の第1回協議会で詳細な説明をする予定です。来年度に変更する事業・新しい事業について説明させていただきます。

・本庁総務課の管轄として、24年度から公文書・古文書の整理保存のため中仙庁舎2階、元の議会事務局、議長室、議員控室が使用されます。いずれは元の議場において市民に公開したいと考えているようです。

・地域予算が増額については委員の皆様のお知恵を拝借しながら使い切りたいので、ご協力よろしくをお願いします。

・児童家庭課の事業としてですが、現在、地域子育て拠点事業として大曲・大花町の都市再生住宅の1階に「まるこの広場」という、子育て家庭の親子が集まって交流や育児相談をする場所があります。ここの利用状況がよいため、東部、西部地区にも設置することになりました。24年6月にドンパルの子どもの遊び場に設置することになっております。

・以前、地域協議会の実働部隊として地域コミュニティ会議をつくるように云われていましたが、当協議会は、地域づくりの代表という事で各地域の方から委員になっていただいているため設置の必要はない、と返答しておりました。しかし23年度、大曲地域で会議が設置され、残ったのが中仙地域のみとなってしまいました。今後、各自治会との協働事業の推進や自主防災組織の構築を考えると、自治会の連合会的な組織が必要と思いますので、24年度に準備を進めていきたいと考えております。その際はご協力方をお願いします。

農林建設課長 24年度事業の詳細は来年度、資料を交えながら説明させていただきます。

・2年連続の豪雪ということで、昨年11月16日に初雪を観測してから降雪日数が78日と、長きにわたって雪が降ったのが今年の傾向です。除雪出動日数が40日ということで、これも管内では最も多い地域の一つです。

・雪解けとともに痛んでいる道路が目立っております。職員が出動して修復していますが、それでは修復出来ない箇所もあり、これらについてこれから修復していきたいと考えています。市としては、市道を含め生活道路の安定確保を図ることを目標に進めていきたいと考えております。

・農政関係について、全国の農業者平均年齢が65.8歳、就業者の高齢化、後継者不足、そして農地がなかなか集積しないというのが現状であります。これらを見据えて国では「人・農地プラン」の作成を進めています。規模としては集落、地域、地区、という形の計画がたてられることが予測されますが、今後、その集落がどのような類型に当てはまるのか、委員の皆様と話し合いながら、また各集落にアンケートをとりながら詰めていき

いと思います。

・畜産関係では、全国共進会が長崎県で行われます、当地域は和牛の飼育が盛んであるので全国共進会展の期待もしているところでもあります。

中仙公民館長 詳細は次回、レジュメでお知らせいたします。

- ・6/3、自衛隊コンサート開催。
- ・7/27、ムッシュかまやつと愉快的仲間たちコンサート
- ・8/28、松竹特別講演
- ・総合型のスポーツクラブ「中仙スポーツクラブ」設立の準備委員会を24年度立ち上げる予定です。5回ほどの会議へ経て、25年度の設立を目指しております。

八乙女荘事務長 この4月から八乙女荘、幸寿園が大仙福社会の施設となります。今後ともご協力よろしく願いいたします。

会長 ただいまの件について何かございませんか。なければ、こちらの資料について説明をお願いします。

農林建設課長 カラーの資料について説明いたします。

・市長、副市長協議のなかで、道の駅の活性化について議題となりました。いろいろと検討した結果、地元の特産を広く知っていただきたいと考え、当地域の特産の一つであるジャンボうさぎを道の駅で見えていただき、当地域の特産であることを広めつつ道の駅の活性化も図ることを企画しました。内容としてはケージにうさぎを放し、飼育現場を見てもらいます。時期は観桜シーズンと収穫後の秋を予定しています。時間帯は確定しておりませんが、うさぎが疲れないう配慮したいと思います。場所は道の駅イベント広場を考えています。

・現在ジャンボうさぎの飼育農家について、かつては30戸ありましたが、現在は11戸です。頭数は110羽。「全国ジャンボうさぎ」と銘打っておりますが先行きも不透明な状況でありますので、是非全国に広めていきたいと考えています。また24年度のジャンボうさぎフェスティバルは第25回大会でもありますので、年度当初から気運を高めていきたいという狙いもあります。

・予算についてはイベント経費として①サークル(ケージ)に24,800円、イメージ看板に35,000円、暑さ、雨対策のテント50,000円、PR用の旗に40,000円、計149,800円。②うさぎに係る経費として200,000円(春10回、秋10回)をみています。こちらはうさぎに対する経費がほとんどで、農家に対する謝礼はわずかですが、これでなんとかやっていきたいと考えております。

・次回の協議会が5月ですので、観桜会に間に合わせるため今回地域枠予算として提案させていただきました。了承の場合は4月末までにとりまとめて進めていきたいので、ご検討をお願いいたします。

会長 これは追加の審議ということですね？よろしいですか。異議がないようでしたら承いたします。

平瀬委員 怖いのは、もしうさぎが死んだらということですが、20回というのは多いで

すから。この点については農家の方としっかり協議していただきたいと思います。

金子委員 毎回、同じうさぎを出展するのですか？

農林建設課長 当地域には総合家畜振興会という組織がありまして、その下に小家畜部会というのがあります。この方々がジャンボうさぎを飼育しておりますが、こちらの方々と詳細に打合せを行っていきたいと考えております。趣旨についてはいくらかお話しておりますが、今後、しっかりと詰めていきたいと思います。平瀬委員からご指摘ありました点に関しても、事故、病気、伝染病も配慮しながら皆さんにご迷惑がかからないようにしていきたいと思います。

会 長 よろしいですか。

支所長 昨年のジャンボうさぎフェスティバルの時、市外の業者に話を聞いたのですが、うさぎは人に伝染する病気はないということでした。だから安心して子どもにも抱っこさせることができるそうです。

業者がいうには、子どもにうさぎを抱っこさせて写真を撮って、写真代として100円もらおうそうです。結構な資金源になるそうです。

農林建設課長 金子委員からのご質問ですが、今考えているのは、親はケージを分けて入れることを考えております。それから、ちょうど良い時期の子うさぎがいれば何羽か入りたいと思っております。

毎日同じうさぎかというご質問でしたが、うさぎは、大変ストレスを感じる動物なので、できれば小家畜部会の方々が輪番制のような形で出していただければと考えております。

児玉委員 実はうちの会社で、ドアにジャンボうさぎの絵を描いております。やはり宣伝が一番大事じゃないのかなと思います。地元だけではなくて観光の方を対象とするような。例えば大曲のタクシー会社は「花火の街」とタクシーのドアに貼っております。中仙では今現在、小さいタクシーが7台、ジャンボタクシーが4台あります。そのうち1台は毎日のように秋田空港まで行っております。もちろん角館駅にも待機しております。これから花見のシーズンになれば観光客がたくさん来ます。タクシーに「こういうイベントやっていますよ」「やりますよ」というのを宣伝しておけばお客も気が付くと思います。観光の方は写真を撮るために、ここまで来ます。八乙女公園や道の駅の裏、芥内川とか。そういうときに「ジャンボうさぎもやっていますよ」という宣伝をやってもらえばよろしいのではと思います。

会 長 参考にしてやってみてください。他にいませんか。

長谷山委員 道の駅でこういうイベントをやってもらうという事は、私も道の駅に関わっていますので大変うれしいと思います。ただ、どのように道の駅で絡んでいくのか、これからの協議だと思っておりますが、まだ何も決まっていないので。

せっかくのジャンボうさぎのお披露目ですので、そこでは「ジャンボうさぎは観賞用ではない」ということをまず分かってもらわないといけないと思います。

お客から「ウサギの肉はどこにあるのか」とよく聞かれます。フェスティバルの時もそ

うです。そう言われても地元の我々も、関係者もどこにあるのかよく分からないというのが・・・せっかく宣伝しているのに結果が伴わないというか、肉のところにたどり着かないことには「ジャンボうさぎは食用です」といっても、そこがなかなか繋がっていかないように思えます。

うさぎを宣伝するのは良いのですが、肉も豊富にある状態で宣伝していただかないと『ジャンボうさぎ』という『うさぎ』がいます」といっているだけ。「今は食べられません」というのでは、なんか繋がっていかない、というのをいつも感じます。今ここでイベントをやっただけだとすれば、そこには当然、「食べる肉もあります」というようにセットで進めてもらわないと、広がっていかないのではないかと思います。

その他のこともいろいろ協力できるかと思いますが、肉とセットで準備していただかないと。季節があるとすれば、そういう時期があるということを知らせないと、いつでもあると思って、せっかく足を運んでくださったのにいつも断る状態ですと宣伝しているのに断っているというチグハグな状態のような気がしますので、何とかセットで進めてくださるようお願いいたします。

農林建設課長 ただいまのことについて、まったくそのとおりでと思います。たまたま同じ道の駅で46号線にある協和の道の駅には、ジャンボうさぎの肉がいつも販売されておりまして。そしてそのレシピ、どのように調理したらいいか、それも踏まえて販売しているようでございます。本家の中仙地域が販売していないで他地域で販売していることが残念で、いままでも悔やまれていたのですが、その辺も検討していきたいと思っています。それから内容については道の駅との連絡協議会で話し合いながら進めていきたいと思っております。

会長 長谷山委員、よろしいですか。

長谷山委員 はい。後で連絡協議会の方でも話があるということでしたので。

会長 市の方からは他にありませんか。

支所長 本日の魁新聞の県南版に載っておりますが、議会で「議会基本条例」ができたことにより、住民の方々と行政の座談会を地域ごとに開くということで、6月の議会終了後から7月いっぱいにかけて、何班に分かれて行うようです。昨日、西仙北で予行的に行われておりますけれど、議員の定数のことも話題になったり、様々な忌憚のない意見をいただければということで、議会と日程を調整して、是非、協議会の委員の皆さんにもご参加していただければと思っております。

会長 昨日の会議で、市民は70名とあったけれども、これは制限があるのですか。

支所長 いえ、無いです。いくらでも来ていただきたいということですがけれども、昨日70名で開催したということで、この人数がスタンダードになるのだらうと思います。議員の皆さんは開催は日曜でも、曜日にはこだわらないというようなお話がありましたので、より多くの人が集まるよう日程を調整したいと思います。

会長 以前も会合がありましたよね。

支所長 あれは「基本条例」を作るということに対しての意見を集める会議でした。

会長 いずれ日程が決まりましたら、委員の皆さん、率先して出席するようお願いします。

今日は3時からの開会ということで、皆さん、特に何かありませんか。なければこちらに任せていただくということで。

本日は長きにわたりありがとうございました。特にジャンボウさぎについては集中して審議いただきましたありがとうございました。

次回は、確定ではありませんが、いずれ4月末は休みだと思えます。事務局にお任せします。

これで今日の会議は終わります。ありがとうございました。

平成 24 年 3 月 23 日

会議録署名委員

委員

委員